

平成22年 8月10日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード 8732 大証ヘラクレス)  
 問合せ先 取締役CFO 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成22年7月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成22年7月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成 21 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	1,073	1,029	1,064	851	782	874	923	813	656	928	777	697
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	65,379	65,376	71,623	62,545	57,906	59,165	63,775	58,187	62,076	77,652	70,481	75,109
顧客口座数 (単位：口座)	84,100	88,675	92,763	96,660	99,811	104,065	107,250	110,222	113,275	116,632	119,881	123,278
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	25,519	22,605	22,453	23,369	23,798	24,198	24,524	26,124	27,295	25,444	27,331	25,557

年 月	平成 22 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	794	775	860	843	1,249	882	855					
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980					
顧客口座数 (単位：口座)	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846					
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419					

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。  
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。  
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分していません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれていません。

- (4) 外国為替取引預り証拠金：ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示しておりません。
5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

#### < 7月次の概況 >

7月の外国為替市場は、当社グループの主要な取扱い通貨ペアである米ドル/円は月初から月後半にかけ86円台から89円台の狭いレンジで推移しましたが、月末には日米金利差の縮小や米国経済の減速懸念等により、約8ヶ月ぶりに85円台をつける動きとなり、変動率は前月をやや上回る水準となりました。一方、米ドル/円に次ぐ取引高の取扱い通貨ペアである豪ドル/円やユーロ/円の変動率は前月に比べ低下し、総じて変動率は前月を若干下回る動きとなりました。

この結果、外国為替取引高は、前月比約10%減少となる69,980百万通貨単位となり、営業収益は855百万円となりました。顧客基盤については、顧客口座数は前月比2,254口座増加の142,846口座となったほか、外国為替取引預り証拠金は6月末に向けての顧客のロングポジション（買建の建玉）の大幅な増加により増加したことの反動もあり、前月比1,610百万円減少の30,419百万円となりました。

#### < 8月から施行のレバレッジ規制の影響等について >

この8月より、いわゆるレバレッジ規制が施行され、来年の8月までの経過措置期間中は、想定元本に対して2%の割合以上の証拠金の預託を受けずに取引を行うことが禁止されております。

当社グループは、法令に適合するための商品性の変更等の措置を講じた上で8月からのサービス提供に臨んでおりますが、8月第1週（8月2日～6日）の取引高は、7月最終週（7月26日～30日）の取引高に比べ約22%減少いたしました。しかしながら、元来、外国為替証拠金取引の取引高は外国為替市場の変動状況等に大きく影響されるものであり、同期間の外国為替市場の変動率が低下していること、8月からの証拠金基準額の変更（米ドル/円：28,000円→27,000円、ユーロ/円：51,000円→31,000円、豪ドル/円：58,000円→24,000円等）により実質的なレバレッジが拡大した大阪証券取引所の「大証FX」の取引高も同期間において約13%減少していること、更には当社グループにおける顧客預り資産の額や預り口座数等の基盤となる計数も堅調に推移していること等を考慮すると、現時点では、当社グループの提供する外国為替証拠金取引に対するレバレッジ規制自体の影響は限定的であると考えております。

なお、8月2日より当社グループの提供する主要な通貨ペアにおいて、顧客提示スプレッドを縮小しておりますが、顧客への周知から間もないこともありその効果は現れきっておらず、また、これに伴う取引高当たり収益率への影響についても、従来の取引高に応じたキャンペーンの見直し等の要因もあり現状は相場状況による変動の範囲内に収まっていることから限定的であると見ております。

以 上